
ライヴ・ライク・ユア・ドリーム

那音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライヴ・ライク・ユア・ドリーム

【Nコード】

N3612R

【作者名】

那音

【あらすじ】

サウンドに酔いしれる夢の時間「改訂版」

(前書き)

ども。

すともみずみです。

よろしく願います。

もう十何曲も唄っているというのに、彼はまだ声を枯らしてはいない。それどころか、まだまだ物足りないとも言わんばかりに、次の曲を宣言した。

彼の相棒が歪んだギターの音を走らせると、彼も珍しく手に持っているアコギを弾きながら、お得意のハイトーン・シャウトを披露した。

ドラムが奏でるエイトビートに後押しされ、この空間を支配するすべての音がひとつになった。

骨太なベースラインがサウンドに輪郭をつけ、ドラムビートがその輪郭を強烈に打ち出している。相棒のエレキサウンドに気を配りながら、それでも彼は力任せにピックを振りおろす。そして彼が「Yeah!!」と掛け声をいれると同時に、アリーナが揺れた。

セカンド・イントロダクションが焦らすように続く。そして一瞬、ドラムだけを残してすべてのサウンドがブレイクした。

彼は雄叫びのような警声で人々の心を惹きつけると、そのままアップテンポなメロディーの世界へと導いていった。

疾走するビートに追いつくように、それでも決してハシらないように、完璧な呼吸でサウンドが融け合っていく。

彼の相棒がギター・ソロを奏でる頃には、アリーナもさらに温度を上昇させていた。

彼が最後の山場を唄いあげると、あちこちから歓声と拳があがった。

夢のような時間はまだ終わらない。

（後書き）

読んでいただき、ありがとうございます。

専門用語ばかりで、ご存知ない方にはひたすら???だったかもしれません、お付き合いいただき、ありがとうございました。
感想、アドバイス等々遠慮なく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3612r/>

ライヴ・ライク・ユア・ドリーム

2011年10月8日18時33分発行